年間授業計画

高等学校 令和5年度（１学年用） 教科　情報　科目　情報Ⅰ

教　科：　情報　　科　目：　情報Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　7 組

教科担当者：（1組・2組・5組・6組：石井）　（ 3組・4組：柴沼）　（ 7組：野見山 ）

使用教科書：（ 実教出版　情Ⅰ７０６　図説情報Ⅰ　実教出版Office2021　）

教科　情報　の目標：

【知識及び技能】情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目　情報Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	オリエンテーション他 序章 単元：情報社会と問題解決 【知識及び技能】情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。【思考・判断・表現】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。	・指導事項 問題解決 情報社会における法規と制度 情報セキュリティと 個人が行う対策	情報等を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けている。 法規や制度，セキュリティの重要性，個人の責任及びモラルについて理解している。情報社会が果たす役割と及ぼす影響について理解している。【思考・判断・表現】問題を発見・解決する方法について考えている。法規や制度及びマナーの意義，情報モラル等ついて考察している。情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。【主体的に学習に取り組む態度】情報社会の問題を発見することを通して，情報と情報技術を適切に活用しようとしている。情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。情報社会の問題解決を通して，望ましい情報社会の構築に寄与しようとしている。	○	○	○	13
	単元：コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について，その変遷も踏まえて科学的に理解を深めるようにする。 情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解する。【思考・判断・表現】メディアとコミュニケーション手段の関係を適切に選択する力を養う。【学びに向かう力、人間性等】効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインのえ方や方法を理解する。	・指導事項 メディア コミュニケーション 情報デザインと表現の工夫 コンテンツの制作	【知識及び技能】メディアの特性とコミュニケーション手段について，理解している。情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解している。【思考・判断・表現】メディアとコミュニケーション手段の関係を適切に選択することができる。コミュニケーションの目的を明確にし適切な情報デザインを考え，効果的なコミュニケーションを行うために，評価し改善することができる。【主体的に学習に取り組む態度】コミュニケーションと情報デザインが情報社会に果たす役割について考えながら情報と情報技術を活用し，試行錯誤して効果的なコミュニケーションを行うとともに，情報社会に主体的に参画しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2学期	単元：情報とコンピュータ アルゴリズムとプログラム 【知識及び技能】アルゴリズムを表現する手段，プログラミングによって情報通信ネットワークを活用する方法について理解しシミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解する。【思考・判断・表現】コンピュータの能力との関係について考察し、アルゴリズムを考え適切な方法で表現し、ねっとわーくを活用する。【学びに向かう力、人間性等】問題解決にコンピュータを活用し，自ら結果を振り返って改善する力を養う。	・指導事項 情報の表し方 コンピュータでのデジタル表現 情報機器とコンピュータ アルゴリズムと基本構造 プログラムの基礎 プログラムの応用 Excel等	【知識及び技能】アルゴリズムを表現する手段，プログラミングによって情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付けている。シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解している。【思考・判断・表現】情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察している。アルゴリズムを考え適切な方法で表現し，ネットワークを活用するとともに，その過程を評価し改善することができる。【主体的に学習に取り組む態度】問題解決にコンピュータを活用し，自ら結果を振り返って改善しようとしている。情報社会に主体的に参画しようとしている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
3学期	【知識及び技能】ネットワークの組みや構成，セキュリティを確保するための方法等について理解する。 データを収集，整理，分析する方法について理解し技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】ネットワークにおける構成要素を選択し，セキュリティを確保する方法を考える力を養う。データの収集，整理，分析及び結果の表現の方法を選択し，実行し，評価し改善する。【主体的に学習に取り組む態度】情報通信ネットワークを目的に応じて適切かつ効果的に活用する力を養う。データを多面的に精査し，傾向を自己調整しながら見いだす力を養う。セキュリティなど配慮し情報社会に主体的に参画する態度を養う。	・指導事項 モデル化 シミュレーション データの活用 ネットワークの仕組み 情報システムとサービス 情報セキュリティ Excel等	【知識及び技能】ネットワークの組みや構成，セキュリティを確保するための方法等について理解している。データを収集，整理，分析する方法について理解し技能を身に付けている。【思考・判断・表現】ネットワークにおける構成要素を選択し，セキュリティを確保する方法を考えている。データの収集，整理，分析及び結果の表現の方法を選択し，実行し，評価し改善することができる。【主体的に学習に取り組む態度】システムにより提供されるサービスや情報通信ネットワークを目的に応じて適切かつ効果的に活用している。データを多面的に精査し，データに含まれる傾向を自己調整しながら見いだそうとしている。情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計 70